

みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

ウクライナから 石巻に避難して3年



イリナ ホンチャロヴァさん

ウクライナ出身
石巻市在住

—石巻にいらっしゃる前のウクライナでの暮らしについてお聞かせください。

私の祖父は外国とのやり取りが多い仕事をしていて日本とも接点があったので、子どもの頃から日本に親しみを感じていました。25年ほど小学校の教師として働き、定年退職後は高齢者の生活支援をする組織で活動していました。

私の暮らしていたチェルニヒウはウクライナ北部に位置し、歴史的な街並みが有名で外国からも観光客が訪れていました。日本を記念して植えられた桜並木があったり、オーケストラに日本人の指揮者がいたり、チェルニヒウは日本ともゆかりのある街です。

—石巻に来ることになった経緯とその後の暮らしについて教えてください。

息子が日本人女性と結婚して石巻に住むことになり、どんなところなのかと調べたことがありました。石ノ森萬画館もその時に知ったのですが、まさかそれが毎日窓から見えるところに住むことになるとは思っていませんでした。私がふるさとを離れる決断をしたのは2022年の4月中旬でした。ロシアからの攻撃があると、多くの人は地下に避難するのですが、私の母は高齢で階段を降りることが難しかったため、母と二人で息子夫婦のいる石巻に逃れることを決めたのです。

日本に来たばかりのころは笑うこともできませんでした。そんな私に、近所に住む人が声をかけてくれたり、お菓子をくれたりして、励まし、笑顔にしようとしてくれました。石巻の人々は東日本大震災で親しい人や住み慣れた家を失うという経験をしているからこそ、ウクライナから避難してきた人の気持ちがわかるのかもしれない。

散歩が趣味で石巻でもよく歩いています。石巻の雰囲気はチェルニヒウと少し似ていると感じています。歩いている人も人とあまり会わないところも似ていますね。今では石巻が第二のふるさとだと感じていて、東京や仙台に行くと早く石巻に帰りたと思うほどになりました。

—週に一度、日本語を勉強しているそうですね。

石巻に来てから「国際サークル友好21」の日本語教室で日本語を学んでいます。ことばはコミュニケーションの手段として大切ですから。ウクライナの暗いニュースを目にして勉強に集中できなくなることもあります。ボランティアの横須賀さんと日本語を学んでいます。横須賀さ

んは日本語を教えてくれるだけではなく、生活面でも私を支えてくれている、親友のような存在です。とても感謝していますし、尊敬しています。

—様々な活動をされていると聞きました。どのようなことに取り組んでいますか。

今は少しお休みをしていますが石巻市震災遺構門脇小学校で、依頼があった時に



同じ日本語教室で学ぶ多国籍の仲間と浴衣で大漁踊り

ウクライナのことをお話しています。私自身が教師として長く勤めた経験から、学校という場所に何かご縁を感じ、この活動をすることに決めました。はじめのうちはウクライナ語で用意した原稿を読み、参加者には日本語の翻訳文を配って話を聞いてもらっていたのですが、勉強を頑張っただけで今では日本語で話しています。ロシアの侵攻が始まるまでウクライナは日本であまり知られていなかったと思いますが、私の話を聞くことで日本人がウクライナのことを知り、ポジティブなイメージを持って頂けたら嬉しいです。この活動を通じ、「記憶を残すことの大切さ」を感じています。日本は東日本大震災の記憶を後世に伝えようとしていますが、いずれウクライナもこの戦争の記憶を次の世代に語り継いでいくことを考えないといけないと思います。私の石巻での経験が、いつか母国でも活かせるかもしれませんね。

他に、母の通っているデイサービスで週に一回お手伝いをしています。一緒に手を動かして脳のトレーニングをしたり、カラオケで日本の古い歌を歌ったりしています。カラオケは歌詞がひらがなの勉強にもなりますね。書道の作品をデイサービスの利用者さんに見せたときは、「イリナさんすごい〜!」ととてもほめて頂いたこともありました。

国際サークル友好21 横須賀 栄美子さん

息子さん近所に住んでいてご縁で、イリナさんに食べ物を届けたり、買い物や地域のことを教えたりしながら、石巻での生活が安定するよう協力してきました。そのうちに国際サークル友好21の日本語教室でも私がイリナさんを担当するようになり、今に至ります。

彼女の積極性は素晴らしい、逆に私のほうが日本文化を学ぶきっかけをもらっています。着物について尋ねられた際、私は知識がなく恥ずかしくなり、もともと自分の国を愛さねばと着物教室に通い始め、今では自分で着られるようになりました。それから石巻川開き祭りの「大漁踊り」に日本語教室として参加することになり、去年はボランティア団体着物deスマイルさんの協力で70人の外国人に浴衣を着せることができました。これもイリナさんがいなければ思いつかなかったことでした。

これまで私は生活支援者、日本語講師、友人として、ロシア侵攻の苦しみを少しでも和らげてあげたいという思いで関わってきました。イリナさんが少しでも早くふるさとウクライナへ帰還できることを祈っています。

「みやぎ外国人相談センター」から

クメール語の相談対応を開始しました

みやぎ外国人相談センターでは、5月からカンボジアの公用語であるクメール語対応を開始しました。相談員が月に1回勤務するほか、外部の通訳コールセンターを活用して相談に対応します。

もしかわりにカンボジアの方がいらっしゃいましたら、困りごとの相談先として「みやぎ外国人相談センター」をご紹介ください。

TEL:022-275-9990 月曜日～金曜日／9:00～17:00

対応言語：英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、タイ語、ヒンディー語、クメール語、日本語



未来の東北博覧会記念国際交流基金助成金

1987年に開催された「未来の東北博覧会」を記念して創設された未来の東北博覧会記念国際交流基金助成金は、国際交流・協力事業や多文化共生推進事業に対する助成を行っています。

助成対象事業の実施時期	受付期間
4月1日から 6月30日までの間に開始する事業	1月1日から 2月10日まで
7月1日から 9月30日までの間に開始する事業	4月1日から 5月10日まで
10月1日から12月31日までの間に開始する事業	7月1日から 8月10日まで
1月1日から 3月31日までの間に開始する事業	10月1日から11月10日まで

助成金の対象となる事業、条件および手続きの流れについては、ホームページをご確認ください。

申請に関するご相談は、申請受付期間に限らずいつでも受け付けておりますので、まずはお電話ください。

未来の東北博覧会記念国際交流基金 問合せ先TEL:022-275-3796 ((公財)宮城県国際化協会内)

MIA日本語サポータービギナー研修会

外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア活動について基礎から学ぶ研修会です。サポート活動を始めてみたい方、MIA日本語サポーターに登録はしてみたけれど実際どうしていいかわからないというビギナーの方々におすすめです。

■日時 2025年7月31日(木) 13:00～16:00

■場所 宮城県国際化協会(MIA) 交流ラウンジ

■内容 地域の国際化と日本語ボランティア活動、外国語としての日本語、日本語学習教材の紹介、やさしい日本語、サポート事例の紹介など

■講師 MIA日本語講座スーパーバイザー、MIA日本語サポーター

■定員 20名(先着順)

■申込 Googleフォーム <https://mia-miyagi.jp/250731beginner> またはEmail(mail@mia-miyagi.jp)にて。

※参加はMIA日本語サポーター登録者に限ります。未登録の方は事前にMIA日本語サポーターへの登録をお願いします。



MIA日本語講座 第2期のご案内

MIA日本語講座を開講します。身近に日本語を勉強したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。

多言語(日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、ウクライナ語)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1 初級2	火～金	10:00～12:00	10月7日(火)～1月23日(金)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥27,500 ※テキスト代別	初級1・2 各18人
中級	火・木	13:00～15:00	10月7日(火)～1月22日(木)	『できる日本語 初中級』	¥14,000 ※テキスト代別	18人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	10月7日(火)～2月24日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥14,000 ※テキスト代別	初級1・2 各18人

■場所 宮城県国際化協会 (MIA)

■申込 事前の申し込みが必要です

国際理解教育の
現場から

国際理解教育支援事業の申し込みを受け付けています

MIAでは小中高等学校や生涯教育団体などを対象に、MIA登録の外国人講師を紹介し、交流の機会を提供しています。昨年度は12市町の教育機関等から22件の申し込みがあり、25の国・地域出身の外国人講師延べ101名を紹介しました。

〈実施した学校(生徒)からの声〉

- ・実際の写真や民族衣装、おもちゃなどを使ってくれたので、「それぞれの国についてもっと知りたい」と子どもたちの興味関心が高まったようです。(小学校)
- ・講師の方々の話は初めて聞くことばかりでした。私たちはテレビに映る一面しか見ていないのだと感じ、世界をさらに広い目で見る必要があるだと学びました。(高等学校)

●MIA登録の外国人講師ってどんな人たち？

アジア、ヨーロッパ、北米、中南米、アフリカなどの様々な国・地域出身者です。留学生や宮城県国際交流員(CIR)、国際結婚の方、ビジネスをしている方などバラエティーに富んだメンバーです。日本語が流暢だけでなく、子どもたちとの交流が大好きな講師ばかりです。

●予算はどれくらい必要？

1プログラムにつき20,000円です。

- ・3人分の講師謝礼および交通費を含んだ金額です。
- ・基本は3人一組ですが、講師謝礼・交通費をご負担頂ける場合は最大10人まで対応可能です。



高校生にクイズを出題するフィリピン人講師

ぜひご利用ください!



シリーズ

外国人とともに働く

県内には約2万人の外国人労働者がおり、私たちの暮らしを支える貴重な存在となっています。このシリーズでは、外国人を積極的に雇用している企業のさまざまな取り組みをご紹介します。

第3回 富田運輸株式会社(大和町)

弊社ではバングラデシュ人2名、ベトナム人2名、合計4名の外国人を自動車整備士として雇用しています。自動車整備の職も、他の職種と同様に人手不足が深刻化しており、2023年4月から雇用を始めました。言葉や文化の異なる人と働くことには、当初、不安もありました。細かな指示がうまく伝わらず、苦慮したこともありましたが、今では慣れてだいぶスムーズにコミュニケーションが取れるようになったと思います。バングラデシュ人2名はムスリムなので、そうした宗教や生活習慣の違いについて、同じ部署で働く社員に事前説明等をし、お互いに気持ちよく働けるよう配慮をいたしました。

4名とも一生懸命仕事に取り組んでおり、新たな資格取得に挑戦する、運転免許の取得を目指す等、その向上心の高さに日本人社員も良い刺激を受けています。

今年の4月から、バングラデシュ人社員2名の配偶者が、MIAの日本語講座で勉強しています。

日本語ができないからと自宅にこもりがちになるのもよくないですし、日本文化に触れてほしい、地域の人と交流してほしい、という社長の思いから受講を勧めました。

また居住に関しても配慮し、弊社で住宅を整備した上で、外国人世帯に優先的に入居してもらっています。

弊社では従業員が安心して働くには、家族への配慮も大切であるとの考え方があり、それは外国人に対しても同様で特にサポート面を強化しております。

人口減少時代を迎え、人材の確保がますます難しくなるなか、外国人社員の雇用はますます重要になります。弊社では今年、外国人ドライバーを採用する予定で、現在その手続きを進めているところです。

今後も従業員が働きやすい環境を整えることで、外国人にとっても魅力的な職場となるよう、引き続き努力していきたいと考えております。

(総務部 永野歩)



社内レクリエーションの一環で雪の蔵王を訪問

最新の在留外国人数が発表されました

出入国在留管理庁は、2024年12月末の在留外国人数を発表しました。宮城県に在留する外国人は29,878人となり、過去最高を更新しました。国籍別にみると、中国(5,743人)、ベトナム(5,115人)、ネパール(3,299人)、韓国(2,981人)、インドネシア(2,728人)の順となり、初めてネパールが韓国を上回りました。特に増加が顕著だったのはそれぞれ前年比でインドネシアが770人、ネパールが566人、ミャンマーが536人などです。在留資格別にみると、留学(6,393人)、技能実習(5,975人)、永住者(5,819人)、特定技能(2,685人)、技術・人文知識・国際業務(1,947人)の順に多くなりました。前年比で技能実習が814人、留学が643人、特定技能が618人となり大きく増加しています。

人数はすべて12月末現在 出入国在留管理庁
在留外国人統計(旧登録外国人統計)より



みやぎの国際活動団体

特定非営利活動法人
宮城・ミャンマー友好協会 理事 スーザ ミョータンさん

当協会は、経済・教育・文化・スポーツ交流を通じた事業を行うことにより、ミャンマー連邦共和国と宮城県の繁栄と発展、経済や文化の更なる交流促進と真の友好関係の構築に寄与することを目的とし、設立されました。30年ほど前に、私が私財を投じてミャンマーに小学校を建設したことを皮切りに、多くの個人や団体の協力を得て2015年までに小学校15校(※)を建設・寄贈し、子どもたちとの交流や勉強に必要な教材などの支援も行ってきました。※現在は中学校・高校になっているところを含む。

3月28日に発生したミャンマー第2の都市マンダレーを震源としたマグニチュード7.7の大地震では、建設した小学校のうち1校が全壊、6校が被害を受けました。莫大な費用がかかるため時間はかかりますが、現地の教育委員会などとも連携して修復したいと思っています。

ミャンマー大地震の復興にむけた取り組みにご賛同いただける方に献金をお願いしております。8月末まで、下記の銀行口座にて受け付けています。

七十七銀行 中央市場支店 (普通預金) 口座番号: 5177103
口座名: 特定非営利活動法人 宮城・ミャンマー友好協会

地震の復興活動に大切にに使わせて頂きます。みなさまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。



サポーターの声 MIA外国人支援通訳サポーター

当協会では、医療機関や公的機関等からの依頼に基づきMIA外国人支援通訳サポーター(以下「通訳サポーター」と略します)を紹介しています。コロナ禍以降、オンライン会議ツールZoomや電話を活用した遠隔通訳も行うようになりました。病院での診察、行政機関との話し合い、保護者面談、法律相談など日本語だけでは難しいやりとりにおいて、通訳サポーターがコミュニケーションのお手伝いをしています。登録言語は20言語ほど、100名を超える登録者にご協力をいただいています。

通訳サポーターの登録は随時受け付けております。電話またはメールでお問い合わせください。

■MIA外国人支援通訳サポーター <https://mia-miyagi.jp/tsuyakusupo.html>

MIAからのお知らせ

機関紙倶楽部 MIA は今年度から季刊発行となります(6月、9月、12月、3月発行)。発行の回数は減ってしまいますが、みなさまに宮城の多文化共生に関する情報を引き続きお届けしていきたいと思っておりますので、変わらずご愛読頂けると幸いです。

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎協会機関紙 宮城県国際化協会機関紙 倶楽部MIA の定期送付(年4回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
- ◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎本協会あて御連絡ください。
◎所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.139
編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL <https://mia-miyagi.jp>

